

平成１６年人口動態統計（確定数） 石川県分の概況

「平成１６年人口動態統計（確定数）の概況」[厚生労働省大臣官房統計情報部集計・１０月７日公表（厚生労働省ホームページ <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei04/index.html>）]による石川県関係分は、前年に比べ死産数はほぼ横ばい、出生数、死亡数、婚姻件数、離婚件数は減少した。

〔出生〕

- ・ 出生数は、平成元年から平成１３年までは、毎年１万１千人台で推移していたが、平成１４年から１万１千人を切っている。
平成１６年の出生数は１０,５２８人で、平成１５年の１０,９０６人より３７８人減少した。
- ・ 平成１６年の出生率(人口千対)は９.０で、平成１５年の９.３より０.３減少した。
なお、全国平均は８.８で、本県はそれよりも高い。
- ・ 合計特殊出生率は、昭和４０年代後半の第２次ベビーブームの後には、低下傾向にあり、平成１６年の合計特殊出生率は１.３５で、平成１５年の１.３８を下回った。
なお、全国平均は１.２９で、本県はそれよりも高い。

〔死亡〕

- ・ 死亡数は、平成９年から平成１４年までは、毎年９千人台で推移しており、平成１５年は１万人を超えたが、平成１６年の死亡数は９,９７６人で、平成１５年の１０,０６８人より９２人減少し、１万人を下回った。
- ・ 平成１６年の死亡率(人口千対)は８.５で、平成１５年の８.６を下回った。
なお、全国平均は８.２で、本県はそれよりも高い。
- ・ 死亡原因の順位は、第１位 悪性新生物 ３,１０４人(人口１０万対 ２６４.８)、第２位 心疾患 １,５６８人(人口１０万対 １３３.８)、第３位 脳血管疾患 １,２８２人(人口１０万対 １０９.４)である。

- ・ また、平成 16 年の乳児死亡数は 33 人で、平成 15 年の 40 人より 7 人減少し、平成 16 年の乳児死亡率(出生千対)は 3.1 で、平成 15 年の 3.7 を 下回った。
なお、乳児死亡率の全国平均は 2.8 で、本県はそれよりも高い。

(自然増加 前年を下回る)

- ・ 出生と死亡の差である自然増加数は 552 人で、平成 15 年の 838 人より 286 人少なく、自然増加率(人口千対)は 0.5 で、平成 15 年の 0.7 を 下回った。
なお、自然増加率の全国平均は 0.7 で、本県はそれよりも低い。

[死 産]

- ・ 死産数は、平成 9 年以降、毎年 300 胎前後で推移しているところであるが、平成 16 年の死産数は 292 胎で、平成 15 年の 291 胎とほぼ変わらず、平成 16 年の死産率(出生 + 死産 千対)は 27.0 で、平成 15 年の 26.0 を 上回った。
なお、死産率の全国平均は 30.0 で、本県はそれよりも低い。

[婚 姻]

- ・ 婚姻件数は、平成 11 年以降、毎年 6 千件台で推移しているところであるが、平成 16 年の婚姻件数は 6,187 組で、平成 15 年の 6,274 組より 87 組減少し、平成 16 年の婚姻率(人口千対)は 5.3 で、平成 15 年と同率であった。
なお、婚姻率の全国平均は 5.7 で、本県はそれよりも低い。

[離 婚]

- ・ 離婚件数は、昭和 40 年代以降、増加傾向にあったが、平成 14 年から減少に転じ、平成 16 年の離婚件数は 2,070 組で、平成 15 年の 2,160 組より 90 組減少し、平成 16 年の離婚率(人口千対)は 1.77 で、平成 15 年の 1.84 を 下回った。
なお、離婚率の全国平均は 2.15 で、本県はそれよりも低い。

人 口 動 態 総 覧（石 川 県 分）

	実 数		率		平 均 発 生 間 隔	
	平成 1 6 年	平成 1 5 年	平成 16年	平成 15年	平成 1 6 年	平成 1 5 年
出 生	10,528	10,906	9.0	9.3	時 分 秒 50: 04	時 分 秒 48: 12
合計特殊出生率	-	-	1.35	1.38	・ ・ ・	・ ・ ・
死 亡	9,976	10,068	8.5	8.6	52: 50	52: 12
乳 児 死 亡	33	40	3.1	3.7	266: 10: 55	219: 00: 00
新 生 児 死 亡	17	22	1.6	2.0	516: 42: 21	398: 10: 55
自 然 増 加	552	838	0.5	0.7	・ ・ ・	・ ・ ・
死 産	292	291	27.0	26.0	30: 04: 56	30: 06: 11
自 然 死 産	143	147	13.2	13.1	61: 25: 36	59: 35: 31
人 工 死 産	149	144	13.8	12.9	58: 57: 11	60: 50: 00
周産期死亡	68	54	6.4	4.9	129: 10: 35	162: 13: 20
妊娠満22週以後の死産	52	39	4.9	3.6	168: 55: 23	224: 36: 55
早期新生児死亡	16	15	1.5	1.4	549: 00: 00	584: 00: 00
婚 姻	6,187	6,274	5.3	5.3	1: 25: 11	1: 23: 46
離 婚	2,070	2,160	1.77	1.84	4: 14: 37	4: 03: 20

(注) 1 平成16年、平成15年は確定数である。

2 出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産(出生+死産)千対であり、周産期死亡・妊娠満22週以後の死産率は出産(出生+妊娠満22週以後の死産)千対である。

主な用語の定義

自 然 増 加 : 出生数から死亡数を減じたもの

合計特殊出生率 : 15歳～49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子供数に相当する。

乳 児 死 亡 : 生後1年未満の死亡

新 生 児 死 亡 : 生後4週未満の死亡

早期新生児死亡 : 生後1週未満の死亡

死 産 : 妊娠満12週以後の死児の出産

周 産 期 死 亡 : 妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの

